

現 沖繩地域知的財產推進計画

| | | | |
|--------|--|--|--|
| 戦略 | 沖縄感性・文化産業振興への支援 地域資源のブランド化への支援 中小企業の海外展開への支援 | | |
| 支援環境整備 | 企業の知的財産への意識啓発の強化 知的財産に関する人材育成の推進 知財総合支援窓口の効果的な活用 | | |

取組の方向性

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|-------------|------------------------------|-------------------|----------------------|-------------------|----------------|----------------------|--------------------------|---|
| 知的財産戦略の策定支援 | 支援策、成功・失敗事例、各国知財制度等、有用な情報の発信 | 知的財産に関する専門家の積極的導入 | “おきなわブランド”の実現性に関する検討 | 知的財産の重要性に対する意識の醸成 | 知的財産に精通した人材の育成 | 学生等の次世代に対する知的財産教育の推進 | 知的財産信託や「知財総合支援窓口」の効果的な活用 | |

※

- ・知財の重要性に関する基本的知識については認識しているが知財戦略の策定や活動予算化に至っている企業は少ない。
 - ・県内では特有の文化や資源等を活かした商品・サービスの開発が活発で、地理的優位性を伸長する施策が進行。
 - ・特に教育・研究機関や、行政・支援機関において知的財産を正しく理解する人材の確保・育成が急務。
 - ・知財金融の活用が不十分で、知財活動の多くが自己資金により賄われ、資本不足が知財活動の課題に挙げられている。
+
 - ・コロナ禍により県内では低生産性や需要に牽引されてきた産業構造の脆弱性など従前からの課題がより顕在化。

※令和3年度沖縄地域知財活用基礎調査による

新 沖繩地域知的財産推進計画